

10001 キリスト教概論 I i Introduction to Christianity I		1 年次～ 通年 4 単位	
担当者	石川 都	履修可能学科	N 必
		関連資格	
サブタイトル	現代人と宗教		
授業内容 ・ ねらい	<p>キリスト教を思想としてのみでなく、現代に生きる私たちとかかわらせて見てゆきます。 前期はキリスト教入門編。キリスト教の歴史をたどりながら、他の宗教とも比較することで、キリスト教の特色を浮き彫りにし、現代における宗教の役割について考えます。 後期は現代の人々の宗教性に目を向けます。 戦争、貧困、病、懐疑など、現代の社会的実存的諸問題と対峙しつつ、さまざまな形で宗教と深くかかわって生きた人々の人生観、宗教観に迫ります。 授業は、医療と宗教をできるだけ関連づけながら進めてゆきます。 講義や討論を通じ、各自がキリスト教を学びつつ、現代の宗教的生き方について考えることをめざします。</p>		
授業計画	<p>前期：キリスト教入門 1)宗教とは 2)キリスト教とは 3)イエスとは 4)教会とは 5)聖書とは 6)キリスト教史(古代-中世) 7)キリスト教史(宗教改革以降) 8)キリスト教史(近現代) 9)比較宗教(ユダヤ教) 10)比較宗教(イスラム教) 11)比較宗教(ヒンドゥー教) 12)比較宗教(仏教) 13)日本キリスト教史 14)日本人とキリスト教 15)現代社会とキリスト教</p> <p>後期：現代人と宗教 1)2)ティリッヒ(究極的な関心) 3)4)ボンヘッファー(成人した世界) 5)6)キング牧師(私には夢がある) 7)8)マザーテレサ(豊かさの中の貧困) 9)10)神谷美恵子(生きがいについて) 11)12)岸本英夫(死は別れの時) 13)14)日野原重明(医学は総合的人間学) 15)ディスカッション</p>		
教科書 参考書	教)『聖書』(新共同訳)		
評価方法	毎回出欠と質問票をかねたミニレポートを提出。 成績は試験(小論文)と出席状況と授業態度の総合評価		
事前準備学習 履修条件等	看護学科指定クラス		